

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名：PARCにしのみや

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	静的活動と動的活動の使い分けが行えるように、それぞれのスペースを設けている。	・とても楽しい空間で、広々としていて活動しやすいそうです。 ・十分かと言われると、断定はできないです。	定期的に整理し場所の確保や配置などを考慮する。 机上活動の場の拡大を検討。
	2 職員の適切な配置	十分に確保できている。	・児童が活動する際の安全を確保する人数は十分。 ・職員間の知識の差があったり、アドバイスを十分にもらえないと感ずることがある。 ・専門性が高いと感ずる。 など	配置数は十分に確保できている。 専門職と連携をとり保護者へフィードバックを行う。 知識を増やすために事業所内での勉強会実施。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関前の段差解消の為スロープ設置。	・視覚で十分理解できるように工夫されています ・遊び場と机上活動が区切られているので目前のことに集中させてもらえる。	スロープ設置済み。 視覚支援の充実を図る。(どこに何があるか等) 子ども一人一人に応じた環境設定をする。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	定期的に掃除をしている。 感染症対策は徹底している。	・整理整頓され、いつも気持ちよく利用できる。 ・とても清潔に保たれていて、安心できる。 ・ブランコの位置が危ない	今後も継続して清潔を保つ。 引き続き衛生面・安全面に配慮する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	週1回の職員会議、ケースカンファレンスの実施。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	西児連での事業所間相互評価の実施。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	積極的に事業所外部で開催の研修に参加できるような体制が整っている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	児童指導員と共に療育に関わっている保育士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床発達心理士等の助言含めて客観的に作成している。	・困り感や、頑張りたいたいことなど細かいところも聞き取っていただいて計画を立てて頂いています。	全職員が保護者と話す時間を設けられるように人員の配置を行う。 子供が興味を持つ活動を提案し、支援に繋げていく。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団での活動として、SSTを取り入れている。	・専門的な説明をもっと聞きたい	
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	モニタリングを行い保護者に対して計画書を示しながら、支援内容の説明を行い同意を得ている。	・実年齢ではなく、子供の成長にあった計画を立てて頂いています。スモールステップで達成感がある内容と思います。	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	必ず子どもが主体となるように、一人一人の活動に合わせた支援を実施している。	・本人のブームがありますので月単位では、少し固定しているところもありますが、トータルで見るとバランスよく活動していると思います。 ・遊びの間に机上活動やほかの活動へそつと誘ってくださいます。	子どもが主体となるようなプログラムを継続しながらも遊びの幅を広げていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	事前に職員間で話し合いを行い、チームで考案した内容に取り組めるようにしている。		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	一人一人の利用児に応じた個別の療育を実施。また、長期休暇時には集団療育も実施している。	・子どもの好きな事、出来る事の縛りがあるかもしれませんが、他の遊びにも取り組めるよう、誘導して頂けたらと思います。 ・遊びの間に机上活動やほかの活動へそつと誘ってくださいます。	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	必ず子どもが主体となるように、その都度プログラムを変えながら行うようにしている。さらにより良い提案が必要。		
8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	9時の朝礼にてその日の打ち合わせを実施しているが、利用児がいる場合は十分に実施できない場合がある。			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了直後の振り返りは空きがない場合難しく、個別の経過記録を確認し翌日の朝礼にて共有を行う。	
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別に経過記録を記入し、職員全員で共有した上で、支援の検証・改善に繋げている。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6か月に1度モニタリングを実施し、更新や継続への判断を行っている。また、保護者へ利用時に子どもの様子を伺い、支援に反映している。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童発達支援管理責任者を中心に支援に携わる児童指導員も出席し、その子どもの状況を的確に伝えられるようにしている。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	関係機関と連携し支援を実施している。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	必要に応じて、医師の指示書等の書面を確認している。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	報告書を作成し、書面で共有している。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	今後実施していく予定。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	西宮こども未来センター等との連携を図っている。		
	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	利用児のきょうだいの参加もあり、一緒に活動する機会を作っている。	なし	個別療育の為、交流の機会は設けていないが利用児のきょうだいの参加もあり、一緒に活動する機会を作っている。
	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在のところ実施できていない。	なし	
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に、利用契約書ならびに重要事項説明書に記載の各文章を口頭で行っている。また、改定等の案内文を事業所内に掲示し利用時保護者への周知を行っている。	・契約説明はしていねいにしていただきました。	引き続き掲示でのお知らせ、口頭での説明を行う。
	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6か月に1度モニタリングを行い保護者に対して計画書を示しながら、支援内容の説明を行い同意を得ている。	・半年ごとの見直しもしっかり聞き取りをして計画後設定してさせていただきます。 ・丁寧に説明して頂きました。	引き続きモニタリング・アセスメントを行い丁寧な説明に努める。
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	職員全員がCSP(コモンセンス・ペアレンティング)資格を保有しており、保護者支援に活かしている。	・プログラムとしては行われているのかわかりませんが、日々の接し方、声掛けの工夫など、いろいろアドバイス頂いてます。 ・質問や相談の回答をいただけるのは特定の職員の場合が多い。様々な専門性を持った職員が在籍しているのならば、他の職員からも保護者に対して多角的な意見やアドバイスをしていただきたい。 ・子どもへの接し方、興味を引き出す遊び方など、もっと、アドバイスして頂けたらと思います。	職員間で連携をはかり、保護者へ専門的なアドバイスを行えるようにする。日常生活で行える工夫などを伝えていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	親子参加型の為、利用ごとに保護者と子どもの状況について共有する機会があり、密接な関わりを持っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと一定距離を保てる時間なので、普段の状況を職員の方に伝えることはできています。普段の状況を聞きつつ、そばで遊んでいる子供の姿から職員から多角的なアドバイスをいただき、親が学べる場所になることを期待しています。 ・学校や家庭の様子も聞き取りしていただきます。 	スタッフの人数が足りてない時、子ども優先に付くため徹底は出来ていない。来所時、利用児の状況を確認し引き続き共有を行う。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	利用児に対して担当制は設けていないので、職員各々の視点から相談支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、いろいろアドバイスをいただいています。 ・毎回、職員のどなたかが話しかけてくださって、いろいろ聞いてくださいます。 	徹底は出来ていない。来所時、利用児の状況を確認し引き続き共有を行う。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	茶話会を開催。	<ul style="list-style-type: none"> ・同じような悩みを抱えた他のご家族と情報交換できる良い機会なのでこれからも定期的開催いただきたい。 ・保護者会に参加しようと思うと日程が少なく調整が難しかったです 	今後も実施出来るよう企画する。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	対応する事は徹底している。	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情をあげたことが無かったので、あまりわかりませんでした。 ・体制については、管理者より説明を受けて、知ってます。 	全職員で迅速に問題解決することに努めます。
8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	絵や写真を用い、視覚的支援も実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・十分して頂いています。 	引き続き一人一人に合わせて行う。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月1回「PARCだより」と称した情報通信を発行し配布している。他にSNSやホームページのブログなども定期的に更新している。	・Facebookなどで発信していただければ助かります。	引き続き個人情報等に配慮しながら定期的に更新を行う。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付きの書庫を使用。	-	引き続き個人情報に十分注意しながら、鍵付きの書庫に保管し厳重に取り扱う。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	対応マニュアルあるが保護者が見れる形では無い。感染症対応セットはある。	・十分して頂いています。 ・最初に説明があったのでしょうか。覚えてないです。	個別に全員に説明し周知する。 個別計画書にも記載する。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	通報や消火の訓練を利用児を含めて実施している。	・十分して頂いています。訓練に参加しました。 ・特に何の活動もしたことないです	避難訓練の記載を全員に分かるよう掲示を行う。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	社内での研修には必ず参加している。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	対象児がいないため、行っていない。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事をする機会には事前にアレルギーの有無は確認している。		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例について、職員会議を中心に共有している。		